

国際ロータリー第 2790 地区 東金ロータリークラブ会報 2008年(平成20年)5月20日 第49巻 第39号 通巻第2372号		創 立 1959年(昭和34年)9月15日 RI承認 1959年(昭和34年)10月17日 例会日 火曜日 12:30~13:30 例会場 東金商工会館 4階
2007~08年度 国際ロータリーのテーマ 		RI会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン ガバナー 白鳥 政 孝 ガバナー補佐 秋 葉 吉 秋 会 長 宮 原 信 道 幹 事 鈴 木 康 道 クラブ広報委員長 戸 村 秀 次

第 2372 回例会 5月20日(火) 12:30点鐘

今週の合唱 = **それこそロータリー**

開会宣言と点鐘 お食事 会長挨拶 幹事報告 委員会報告
卓話 ニコニコBOX発表 出席報告 閉会宣言と点鐘

*** 前回の記録 (4月22日) ***

会長挨拶 宮原 信道会長

「ロータリーの理念と実践・白鳥ガバナー」

4月7日(月)開催された横芝RCとの合同例会へ特別に白鳥ガバナーのご臨席を賜り「ロータリーの理念と実践」の卓話を拝聴致したのは記憶に新しい所であります。

過日、ガバナーからお手紙を戴き、合同例会時の卓話に「やや言葉足らずの点があった」と言う事で再度ご丁寧な文書での御指導を戴きました。各位に配布致しましたが概略で内容の一部をご報告致します。

ロータリーの理念とはロータリーの思想(哲学)及び目的を総称し、ロータリーの目的はロータリーの綱領にあります。綱領・ロータリーは誕生の始めから職業奉仕を出发点として成長し、^{共に}今日も職業奉仕を核に拡大を続けている。

職業奉仕の意味

「資本の論理や法規制を乗り越えた高い次元にある道徳律に従い職業を営む事」

古くから有る自然発生的な、人間の良心、誠実、信頼に即したものが道徳で有り、法の上部に道徳は厳として存在しています。法は最低限の守るべ

き事を定めていますが、道徳はそれ以上のものを世にもたらしめます。職業に精を出し利益を上げて税金を納めれば職業奉仕を果たしていると良く言われます。然しそれはロータリーの職業奉仕のスタート地点に立ったに過ぎません。ロータリー



は、尚、一層の高い精神的境地を求めています。その理念は従来から有る道徳律を商行為に於いてあまねく發揮する事であります。

商行為に道徳律を持ち込む事は、取りも直さず経営者の人間的向上が促されると共に人間の持つ欲望を如何に制御するかの問題であります。それを思想として確率したのがロータリーの理念で有ります。

「最も良くする者、最も多く報いられる」

具体的には、**四つのテスト**が理念のモットーとなっています。1. **真実かどうか。**

2. **みんなに公平か。** 3. **好意と友情を深めるか。**

4. **みんなのためになるか。**

この自己制御の論理を実践哲学としてあらゆる行動に適用して行くことは、相手側から見たときそれが**寛容・友愛・信用**となるのではないのでしょうか。

職業奉仕こそロータリーの目的であり、あらゆる奉仕活動の根底には、ロータリーの職業奉仕の理念に裏打ちされた心が無ければならないのです。

幹事報告 鈴木 康道幹事

- ・ 4/22 (火) 横芝RC土屋様をお迎えして
八鶴亭にて新人研修会 (16名参加)



- ・ 5月13日 (火) の例会は休会とします。
5/9 ~ 13 ロシア・サンクトペテルブルクに
国際奉仕委員会の視察旅行の為です。

卓話

千葉銀行東金支店長 森川 俊二様

大学受験、これは今でも制度的に大いに疑問を持っているのですが、当時の制度では、英語も国語も数学も全て記憶力に偏った勉強を余儀なくされていたように思え、自分としては勝手に数学の定理を創っていたりしていました。

学生時代は全くやったことのなかったバスケット部の扉を叩き、ここで4年間ついていけなかったら学歴社会の中で生き残れないとの覚悟でとにかく体育館にへばりついていました。



縁あって昭和56年千葉銀行に入行、預金集めの時代でしたので体力には自信があったので、それを武器に駆けずり回っていました。

最初に配属となった日本橋の下町・久松町支店では、オイルショックの影響から国内企業の業績は総じて良くなく、企業は常に資金不足でした。

5年半勤務したところで、新橋支店開設準備委員となって昭和61年に新橋支店勤務となりま

した。そこで都内のスケールの大きい資金マーケットを身に付けることができ、その経験と資金・為替マーケットに携わっていた感覚はいまだに生きています。

そこで、最初の大きな仕事に遭遇しました。それは、ある上場大手石油化学メーカーグループの再建支援です。今でこそシナリオ策とかを普通にシナリオとして描くことはできますが、高度成長期からバブル経済期への入り口の時期では大変に珍しく、連結ベースの企業分析から財務変動・利益見通しを2ヶ月くらいほぼ徹夜で理論構築しました。

なんせ、数学研究会では人と異なる見方ややり方を平気でしますので、バランスシートを縦・横にひっくり返したり、時間という概念を入れてしまうことも、結構普通にやってしまった。

自分の頭の中ではバランスシートは時間軸を取り入れると三角形をしているわけで、そんな説明を駆使して当時日本銀行出身審査担当役員をうならす説明書類を作り上げることに成功しました。ここで、企業分析にはずいぶん自信をつける結果となりました。

そして、この時期に自分としておかしいなと思ったことが、昭和62年に民営化され上場したNTTの株式です。NTT株については、広く株式投資が世の中に広がったと言う功績は間違いなくありますが、ここで政府が取った施策が銀行にNTT株式取得資金のローン付けを推奨したことです。株式といった時価変動商品を取得する為にローンを組むと言う考え方は、絶対にやってはいけない融資と諸先輩から教わった基本中の基本を国がやれと言ったことは、自分にとって少なからずショックでした。(続く)



ニコニコBOX

御奉仕 ……三宅 英雄会員
研修会に八鶴亭をご利用いただきありがとうございます
……野口 隆利会員
出席率

会 員	出席者	出席率
34名	28名	82.35%
コインBOX	2,700円	

欠席連絡は、前日までに事務局宛に、電話、FAX、Eメールにて、お願い致します。
(緊急の場合は当日10時までに)
メーキャップ先への事前連絡もお忘れなく
電話 0475-52-1101 FAX 0475-55-5766
Eメール: tougane-rc@r2.dion.ne.jp